



C280に搭載された2.8リッターをベースに専用ピストンとクランクシャフトでボア、ストロークアップを図り、排気量を3.6Lまで拡大したM104型エンジン。随分異常なCPも見出され、ノーマルのC280Ds/3.6、2kgmを突破する。そのボルトオンターボ仕様。エンジン本体は、ノーマルより0.2mm厚く設計されたリソウムタルガスケットで圧縮比を落とすなら、過給時のガスケット抜けを防止している。



タービンはポルシェB30ターボ純正のKKK製3LDZを流用。ウエストゲートは大型開放式とされる。最大ブースト0.6kg/cm<sup>2</sup>で350psをマーク。

# AMG C36 [202A36S]

## AMG C36 SPECIFICATIONS

全長×全幅×全高：4495×1770×1350mm  
ホイールベース：2690mm  
トレッド(F/R)：1510/1480mm  
車両重量：1560kg  
エンジン型式：M104  
エンジン形式：直列6気筒DOHC  
ボア×ストローク：——  
排気量：3506cc  
圧縮比：10.5:1  
最高出力：280ps/5750rpm  
最大トルク：39.2kgm/4000rpm  
トランスミッション：4速AT  
サスペンション形式(F/R)：ダブルウィッシュボーン/マルチリンク  
ブレーキ(F/R)：ベンチレーテッドディスク/ディスク  
タイヤサイズ：F225/45-17 R245/40-17



足まわりは、ノーマルでビルシュタイン製AMG専用ダンパー&スプリングが装着され、アーム類の固りつけ位置なども変更。バネとリンクと乗り心地を両立し、ペダルでもっともあげたワークス系メーカーならではと見えるセッティングで、ボルトオンターボ化にあたってはストリートを走る人にも不便なし。また、ブレーキもノーマルでフロントに8クワス12割量モデル用4ポットキャリパー、リヤにE400用2ポットキャリパーがセットされるなど、重量アップが図られている。

ホイールはディッシュタイプのノーマル17インチから18インチのAMGスタイルリングに交換。22本の筋、スポークを持ったデザインが足もとに軽快感をあたえている。



ステアリングやパネル類にウッドが使われた盛況ついでに露出前のインテリア。ハイパフォーマンスカーでありながら、C36はラグジュアリーセグメントとしての側面も持っている。ダッシュボード中央部に装着されるのはオートゲージの配置、ブースト、排気量計だ。



スポーツモデルらしく、サイドサポートを大きく取ったセミバケットタイプのシートを標準装備。リクライニングも前後のサイドサポートが追加されたセパレート式となるため、乗車定員は4名だ。ちなみに、4.3EVOを搭載する後継モデルC43はリクライニングが変更され、乗車定員が5名に変更。